

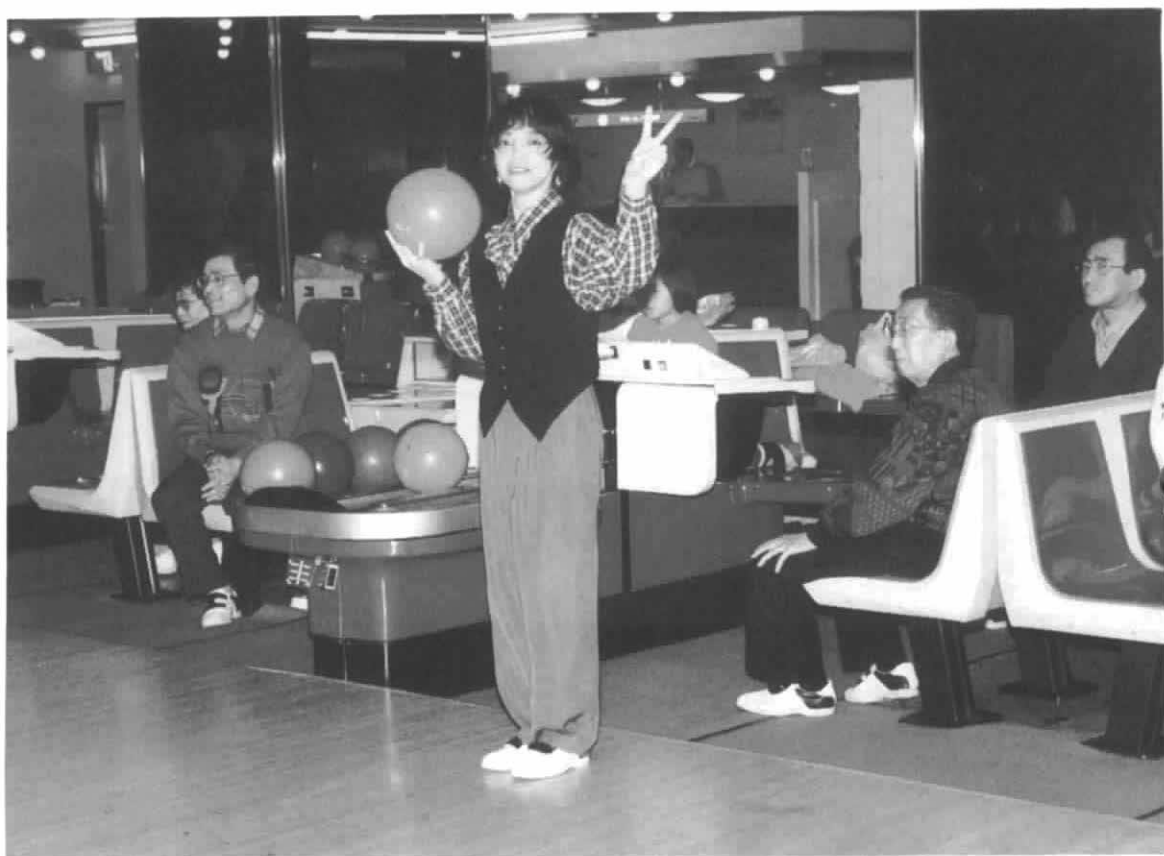
生きる仲間

昭和48年 1月13日 第3種郵便物認可
H・S・K通巻276号

- ◎発行日 平成7年3月10日
(毎月10日発行)
- ◎編集 札幌腎臓病患者友の会
札幌市東区北18条東1丁目
喫茶クインテス内
- ◎発行所 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会

●会員募集特集号

親睦ボウリング大会



2月19日青木ボウルにて

札幌腎臓病患者友の会



組織拡大 キャンペーン 会員募集

皆様のご入会を

札幌腎臓病患者友の会会長 鈴木 啓二



'94年10月、20周年パーティー

厳しかった冬も終わりに近づき、待望の春がやってきましたが、患者の皆様には順調に闘病生活を続けられていることと思います。

昨年、北海道東方沖地震や三陸はるか沖地震があつて大変なことだと思つていたら、今年一月十七日には死者五千人を越す阪神大震災が発生して、透析患者にも多大な被害が出ています。私達札幌腎友会も微力ながら援助金を集め

て送り、被災地の日も早い復興を願っています。

それから、今年度も札幌腎友会の活動は順調に実施されましたが、特に今年度は結成二十周年にあたり、昨年十月二十三日(日曜日)には、記念パーティーをホテルKKR札幌にて、百五十名の参加者で盛大に開催しました。また、記念誌「生きる仲間」も発行し、二十周年記念事業を滞りなく終了出来ました。これは、実行委員長をはじめ実行委員の皆様、各施設の医師・ろん、多くの会員、各施設のスタッフの方々、その他関係者の方々のご支援・ご協力のおかげと感謝し心よりお礼申し上げます。

さて私は、昭和四十五年に透析を始めて、今年五月で満二十五年になります。その頃の透析は「金の切れ目が生命の切れ目」と言われるほどお金のかかる治療で、私も最初の二年半は、国民健康保険

で三割(月に十万〜二十万円位)の医療費を支払っていましたが、その後、昭和四十七年十月より身体障害者福祉法の対象になり、更生医療適用により医療費はほとんどかからなくなりました。

この公費負担をかちとるために、昭和四十六年六月に全国の透析患者が集まり、全国腎臓病患者連絡協議会(全腎協)を結成し、医療関係者や福祉関係者、国会議員などたくさんの方々にご支援いただき、厚生省や大蔵省への要請や国会請願などを行った先輩活動家の生命を賭けた運動がありました。

そして今では「だれでも、いつでも、どこでも」自己負担なし



'94年5月、総会記念講演会



'94年10月、腎登録街頭キャンペーン(大通西4丁目)

に透析が受けられます。また、障害年金(福祉手当)も受給していただき、鉄道・航空運賃も割り引きされています。その他たくさん福祉制度の恩恵を受けていて、本当に恵まれていると思います。さらに昨年十月からは、私達の永年の運動がみのり、有料道路料金の身障者五割引き制度が内部障害者にも拡大適用になりました。

しかし皆様ご存知のように、厚生省(国)は十数年前より、高齢化社会などによる財源不足を理由に、「国庫負担削減」「受益者負担の強化」「民活導入」などと、国の責任を後退させ、昭和五十九年十月の健康保険法改正による健保本人の医療費1割負担や、国保への国庫負担を大幅に切り下げるなどを行っています。

透析医療費においても昭和五十三年二月に初めて切り下げられて以来、幾度ももの切り下げにより、当初の半分以下になりました。そして平成四年四月から血液の検査料の定額化に始まり、昨年四月より外来の透析医療費がとうとう包括化(定額化)されました。これは以前から私たちが最も恐れていた

もので、アメリカでは昭和四十八年に透析医療費の公費負担が定額払い(人工腎臓技術料、ダイアライザー料、一般的な検査・薬剤の費用をすべて含む)で導入されて以来、その費用は据え置かれたり引き下げられてきました。その結果各透析施設は経営を圧迫され、病状にかかわらず原則的に週三回、一回三時間透析で、ダイアライザーも数回再生して使用したり、スタッフの数が減らされたりして、アメリカの透析患者の死亡率がヨーロッパや、わが日本に比べてはるかに高くなったと言われています。

そして、昨年十月からは入院給食費の一部負担を導入し、本道では私達の活動の成果として、今までは医療費の自己負担は無かったのですが、私達の反対運動のいかにもなく、今年一月より透析患者などの重度障害者も自己負担(一日六百円)をするこ

とになりました。最初の自己負担は少なくとも、だんだん負担が増額されることは、老人医療費をみても明白です。

私達は今こそ自分のためだけでなく、今後不幸にして透析を導入する人々のためにも、二十数年前の「金の切れ目が生命の切れ目」と言われることの無いように、透析患者全員がひとつになつて、私達の医療と福祉を守る運動をすすめる時だと私は思います。

そのために一人でも多くの皆様に札幌腎友会へご入会していただくことをお願い申し上げます。



'94年8月、炊事遠足(支笏湖モーラップ)



親睦ボーリング大会に76名

力まかせの人、テクニクの人いろいろ



二月十九日、日曜日。

朝から雪が降っていましたが、楽しみにしていた「腎友会ボーリング大会」の日です。中央区の木ボウルに七十六名の参加者が集いました。鈴木会長の挨拶の後、実行委員長柳沼さんからルール説明があり、八時よりプレー開始。日頃病院と家との往復になりがちで運動など縁がない生活の人がほとんどと思いますが、今日はちょ



っと力を出してみようかなという顔ばかりです。親睦ボーリング大会とはいえ、賞がかかると皆精一杯の力を出して頑張りました。力まかせの人、テクニクの人、それぞれを持ち味で勝負していました。一投一投に歓声が上がりが、拍手がありました。納得したり、悔しかったりでしょう、二ゲーム一時間のプレーに熱中しました。その後昼食に入り、その中で成績発表と表彰が行われました。日曜日の二時間ほどでしたが皆さんで楽しいひとときを過ごせました。

又、明日からそれぞれ通院生活になりますが、健康管理に充分気を付けて生活していきましょう。次回も多くの方に参加いただいてもっともっと楽しませましょう。

それが「親睦」ということでも有意義なものになると思います。

尚、受賞者は次の通りです。

△男性▽（敬称略）

優勝 大場 志郎 345点

（桑園中央病院）

準優勝 河井 弘敏 290点

（佐藤医院）

3位 佐々木一之 280点

（佐藤医院）



4位 本田 敏 280点
(桑園中央病院)

5位 藤澤 孝 271点
(勤医協丘珠)

7位 芭木 芳三 (自衛隊)
10位 佐藤 功
(光星泌尿器科)

13位 藤田 保夫 (佐藤医院)

15位 桜井 宏一 (佐藤医院)

18位 佐藤 順一
(田島クリニック)

21位 棚田 英明
(手稲溪仁会病院)

24位 平田 博
(桑園中央病院)

26位 柿崎 博
(手稲溪仁会病院)

29位 山内 昭二
(勤医協丘珠)

ブリー賞 佐藤 秀憲
(田島クリニック)

優 勝 杉山 允子 224点
(北クリニック)

準優勝 阿部 雪子 224点
(佐藤医院)

3位 笠原 澄子 208点
(幌南病院)

4位 望月 悦子 205点
(北楡病院)

5位 常盤志津子 190点
(北楡病院)

7位 梅沢 秀美 (中野医院)
10位 高橋 幹子
(北クリニック)

13位 小松 君子 (幌南病院)

15位 仲山千鶴子
(北クリニック)

18位 鈴木真理子 (佐藤医院)

21位 本田 明美
(桑園中央病院)

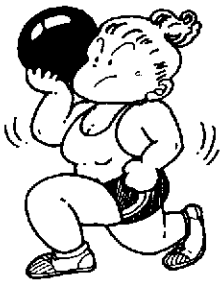
24位 浜谷つや子
(手稲溪仁会)

ブリー賞 佐藤とも子 (勤医協丘珠)

※同点数の場合ハイスコアを出した方が上位になります。

毎年、の事ながら実行委員の皆様お疲れ様でした。

(報告 今村まち子)



幹事会報告

平成六年度第二回幹事会が十一月二十日、北区民センターに二十六名の幹事を集めて開会されました。

〈報告事項〉

始めに、棧事務局長が奥様のご病気の為に二十周年記念パーティーを終えるまでと頑張つて来られました。終了後は奥様の看護に専念されるという事で、事務局長をお休みされ代行を柳沼事務局長にお願ひするむねの報告がありました。了承されました。(尚、奥様は一月二十二日にご他界されました。ご冥福をお祈り申し上げます)

第一回透析者及び家族合同勉強会

平成七年二月五日(日)、外科系の先生方が中心となり、札幌と近郊の市から七施設、約五百名の患者・家族・スタッフを集め、京王プラザホテルの二階ホールに於いて勉強会が開かれました。勉強会では栄養士の立場から低リン食についての考え方と摂取の方法、又医師の立場から、上皮小体(副甲

- (2) モエレわが街、94腎キャンペーンの参加報告(百七十名の登録者あり(川村、棧)
- (3) 腎登録者拡大街頭キャンペーン報告
- (4) 北海道腎移植者推進会議について

状腺)機能亢進症について、高血圧の原因、世界と日本の移植の現状等、それぞれのパネラーが短い時間ではありましたが、内容のあるお話をされていました。又、透析に於ける私の心構えと題して、鈴木会長、北楡病院の熊谷氏、田島クリニックの横井氏の三氏が、それぞれの体験の中から個性ある発表をされておりました。

又、移植コーディネーターの方からのお話もあり、予定の時間から三十分もオーバーしましたが、有意義な会であったと思います。今後はテーマを二つ位にしぼり、質問の時間も設けて頂ければと思います。

平成七年一月十五日(日)、パークホテル十一階のスカイレストラフ・ローザンヌに於いて、幹事の新年会が開かれました。

幹事の新年会開かれる フランス料理に挑戦

参加者は悪い風邪が流行つていた為に十七名と少し寂しい新年会でしたが、今回はフランス料理という事もあり、楽しみにしていた出席者も多かった様子でした。会は鈴木会長から、20周年記念事業も皆さんのお力で無事終わり、大変ありがとうございました。また今年一年が始まりますが、お互いに体を大切にして頑張りましょう、との言葉のあと、フランス料理に挑戦となりました。

二年目の独り言

南一条病院 岩館 二男



兵庫県南部地震により亡くなられた方々の御冥福をお祈り申し上げますと共に被災された皆様にごんでお見舞い申し上げます。

生きる仲間の創刊号は昭和四十九年十月に発行され歩み続けて二十周年の輝かしい実績は医療関係者のもとより札幌腎友会の役員諸先輩御一同様の結集した御尽力に際し深く感謝を申し上げます。小生は透析歴一年七ヶ月にて生きる仲間の文集の広場に寄稿を許して頂いた事は光栄に存じます。むしろ緊張気味であり、恥ずかしい気持ちです。透析器械等薬品名など間違った質問をして笑われている昨今です。

小生の一日は早朝六時に北海道大、名前はタロー七歳と散歩する事一時間、晴天のみ。これがAコース。Bコースは三十分、小雨か多少の雪降り等。Cコースは十分間吹雪・雨天の時です。一日に二度実行しています。「老化は足から来ると病友の先輩より教わったからです。A Bコースの時は小踊りしてシッポを左右に振って一・五m位のヒモから伝わって来る歩き方で喜んでゐる事が解ります。Cコースの場合は大きな木の下か物陰にいて動かなくなりませす。「こんな時は風邪をひくから歩くのはよそうよ」とブルンブルンと首を振りながら目が話しかけます。タローを飼ったのは網膜症による眼底出血の時。医大にてレーザー光線で目を焼き、入院して手術をしました。竹田先生のお蔭で右〇〇・四、左〇〇・六迄に回復し視力が少し上がり始めました。日常の生活をするのには不自由はありません。

ん。犬は小生の杖がわりにと思っただからです。新聞等はレンズを使って読む始末です。

今年一月四日午後八時、岩手県より母の死去を知らされ、五日早朝千歳より花咲空港へ四十五分上空に。着いたのが運が悪く濃霧に包まれ着陸は出来ず空中に十分位の間旋回した。「生前の親不幸を濃霧が知っている。意地悪をしてゐる」昨年五月に母の米寿をしてあげたのがせめてもの孝行であり、良かったと思つた時、霧が晴れ無事着陸、ホッと一息。透析の日程を南一条病院より盛岡南病院に連絡をして頂き、五日通夜、六日告別式と終了しました。

米寿すぎ母無き後のふる里は さようならと杉が手をふる

都南村の盛岡南病院に七日、日詰の駅より八時汽車にて出発、古館駅五百米手前で地震発生、大雪害も手伝って一時ストップする事三時間三十分、透析の開始時間は八時四十分、予約だったので盛岡病院で岩手の実家や南一条病院迄も調べ、JRの汽車の中である事に気が付きJRの本部に緊急手配、列車を動かしてくれた。その列車

には乗客百八十名、盛岡商業のバスケットの選手も乗っていた。

「おじさん有難う」の声も聞こえた。列車は本部の指示通り守らなければ後日大変な事になる模様である。僕の弟が透析の時間が過ぎたら命にかかわる話を声を荒くして交渉したら「君がそんなに元気が良いのだからもう少し待ってほしい」と車掌が語ったと言う。兄弟で顔がそっくりで兄さんと間違っていたと苦笑していた言葉を後にした。その日の透析技師長に頭を下げ岩手の地震のステーションは無事終わりました。数日後、場所と時間が違ったもののゾツとする昨今である。透析患者は何処に行っても大切にされる事が有難く体いっぱいに感じるこの頃です。どうか病友の皆様永い闘いです、会員の列に参加する事が正当なる考え方であり後輩に幸せをつなぐ為にも一人でも多く入会をする事が心の健常者になれるのです。

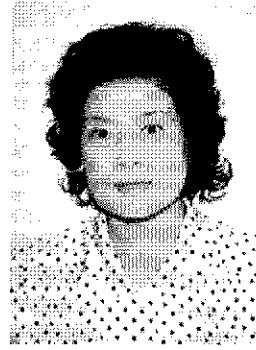
最後に札幌腎友会の輝かしい三十周年に前進し御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

野に咲いた花にも似たる身障は嵐に耐えて生きぬく仲間

投稿

「病は気から」私の健康法

札幌北クリニック 久原 幸江



「心豊かに日々前進」現実をみつめて、感謝の気持ちをいつまでも忘れずに、かく言う私も透析を始めて早や十年を迎えようとしている。この間、色々なことがあったが比較的順調に経過して来たと自分では思っている。しかし透析をはじめた頃は、何もせずこのままの状態では長く元気で生きることは難しいと思っていた。日頃から適度な運動を指導されているものの、当時ヘマトクリットは二〇%前後、週二回（火・金）五時間間の透析は不安と緊張の中、ただ一日一口を無事に終えることしか頭になかった。でも今は全く違う。医療技術の発達と医薬品の開発等

により、腎性貧血も改善され、自己管理如何では健常者と変わりない生活が出来るのだ。医療スタッフに感謝の毎日だ。また、ある人の言葉にスポーツに対する己の能力の限界は精神力の限界だと言う。但し、翌日に疲れを残さないことが第一の条件。この基本姿勢を踏まえて私の健康に対する取り組みが始まった。

先ず平成元年からプール通い、その年の十月から「社交ダンス」（月曜）、翌年秋から「スイミング（水）」、「スポーツジム」午後には「ウォーターフィットネス」、それに加えて四年六月から残った曜日に「ヨガ呼吸法」「水中エアロビクス」「気功」「大極拳」に挑戦、継続は力なりをモットーに自分なりに頑張っている。

この頃には、信じられない程の体力がつき、余分な体重も七キロ減り、筋肉が程々についてきた。努力は報われるものだ。検査デー

タも、今のところ心配なし。気力が充実すれば全てが楽になる。

毎日の運動と会話でストレス解消、食欲増進、熟睡も約束され、これで元気になるない筈がない。自分の体力にあわせて少しずつ、種目、時間等を増やし慣れて行くことにより心身共にバランスがとれてくると、何事もスムーズに行くものだ。日常の家事もそれなりにこなし、ときには手を抜くことも必要と自分自身に言いよかせ、要領よろしく食事会、旅行会、娯楽等で生活に変化をもたせ、一家

団らんを思いっきり楽しんでいる。身は障害にあれど、精神的にも家族的にも恵まれた環境にあることに對し感謝しながら毎日を送っている。あわせて、スポーツ等を通して知り合った仲間との素晴らしい友情を得たことは、私の一生の宝だ。これからも現状に甘んじることなく、一人では生きられない現代の社会にあって、多くの人

の援けと温情に励まされ、貴重な一日を充実した時間と共に力強く生きたい。

投稿

おいら達の新年会

光星泌尿器科医院 佐藤 功



私の記憶が確かならば、一月二十一日、この日は我が光星患者会の新年会が、定山溪温泉一泊で華々しく行われた日である。

当日は今年に入って荒れ狂っていた吹雪もやみ、寒波もひと休み、空青く澄み渡り、絶好の行楽日和、誠に小生の行いの良さ、まさに天の申し子かも知れぬ。しかしさす



がの小生も今年に入って猛威をふるっていたインフルエンザに感染しこの日の参加があやぶまれていたのだが、そこは神の子、あそぶ日までにはなんとかなおすのである(たとえ人にうつしてでもなおしてしまおう)。そのためあわれ犠牲者二人、風邪でダウン欠席となったのである(おお痛々しや、御養生ください)。そして心も体も軽やかに出発したのであります。ゆっくりと湯につかり、手足をのばしてウーンと声が出るのは年のせいかしら。それから夕食までのひとときを、我が病院の名人自家製の漬物やら珍味やらで一杯、二杯、

季節ごとにちがう味覚をみな毎回楽しみにしているものであります。ホロ酔い気分ですのまま宴会となり、ワイワイガヤガヤと、猛然と食べつくすのであります。ストレス解消にきて、がまんするのは本末転倒であると誠に正論をはき、大いに満喫したのであります。その後各自、持参の品を出しあい、アマダくじでひと騒ぎ、喉もかわいたところに、喫茶室にカキ氷があるとのこと。そこで食べて三百五十円、持ち帰りは二百円。これはチト納得いかぬ、疑問はそく解決せねばと一同一致早く下へと向かい、なるほどもりは多くミカンが三切、この一切が五十円かとうなりながら、頭をかかえこみ(米の冷たさに)、結局残り二百円ので良かったネとせい反省をしたのであります。なんやかやと騒ぎながらも又眠れない夜を明かし、その割に朝食はしっかりと食べ、これが大事だ長生きするぞと、決意もかたく帰路についたのであります。そしてさいごにもう一度言う。「立ちあがれ透析の鉄人達よ!!そして大々しく人生を生き抜くがいい!!」

阪神大震災援助募金結果報告

平成7年2月18日現在

施設名	募金	施設名	募金
札幌北クリニック	35,377	札幌鉄道病院	4,000
札幌北楡病院	53,967	うえと医院	3,000
田島クリニック	18,257	サン内科・外科病院	17,000
渡井医院	32,000	兼古循環器クリニック	12,000
三樹会病院	17,192	芸術の森泌尿器科	3,000
中野医院	28,147	自衛隊札幌病院	2,000
勤医協丘珠病院	10,313	N T T 札幌病院	2,500
仁楡会病院	10,693	桑園中央病院	2,300
宮の森記念病院	35,558	個人会員佐々木英博	6,000
南一条病院	44,500	小辻光	5,000
佐藤医院	5,130	日比幸夫	3,000
光星泌尿器科医院	35,830	西村東三	3,000
幌南病院	6,500	藤原慎司	3,000
手稲溪仁会病院	19,500	渡部勝子	3,000
坂泌尿器科病院	3,000	阿部茂子	2,000
札幌中央病院	4,704	吉崎ツヤ	1,000
北三条泌尿器科クリニック	10,000	合計	463,931
橋本内科クリニック	21,463		

※なお、募金は全額道腎協に納付し、全腎協を通して兵庫県腎協に送られます。

MY LIFE マイライフ

この頁は札幌で活躍している会員さんの一味ちがったライフスタイルを紹介する新しいコーナーです

阿部栄さんの巻 ①



「十年目でやっと目標の年間売上一億円を達成できました。」と明るく話すのは、今年で透析十八年目を迎えた阿部栄さん（三十八歳）。透析患者の社会復帰と自然食品の普及をめざして設立された「しらかば会」の代表理事をしています。

初対面の印象は、目がやさしくて、職場の仲間からも信頼されているなどという感じを受けました。「まったくの失業状態から始めたので仕事はきついが働けることが楽しくてしかたがない」という感じですが、阿部さんは代表ではあります。監督だけではなく、みんなと同じように野菜や卵、牛乳などを札幌市内だけでなく小樽、江別、恵庭にまで配達しています。重量物を車で宅配するのは、健常者でも大変なのに、透析患者には相当厳しいと思うのですがと聞くと、「社会復帰している喜びがあるので苦労とは思わない」といいます。

実際作業療法としての効果があり、食欲の向上、ヘマトの上昇が著しく、十きぎの卵の箱を持って五階まで階段を昇ってもへこたれない人も出てきています。しらかば会は、「透析で生きていけないようになったのに、社会復帰できないのでは透析していく意味がない」と言う田島邦好

院長との出会いから出発しました。最初はお茶の販売から始まりましたが、北海道消費者連盟との出会いから、自然食品の販売へと広がりました。自然配合飼料の卵を中心に十品目程度から始まった扱い品目も、現在では百品目、消費者の世帯は千五百戸、消費者グループも七百を超えています。マスコミの注目も集め売上も順調に伸ばしています。

阿部さんは、二十歳のころ透析にはいりました。最初は八雲にいましたが札幌に転院しました。透析二年目に結婚され、現在小学校六年生の娘さんと、一歳五カ月の娘さんがいます。

「失業時代も二、三年つづいた。収入が妻と私で六万円程度。家賃が二万五千円という生活でしたが、妻は不平も言わず私についてきてくれました。楽天的な性格で救われました」と、どんな底の時代をふりかえります。阿部さんの一日は、「仕事で目いっぱい働き、あとは家に帰って子どもとじゃれあうこと。た

のしみは、たまには居酒屋へ行っておいしい魚を食べ、おいしいお酒を飲むことです」。

これからの抱負を聞くと、「みんなが素人で、特別な技術もないので、みんなと相談しながらすすめること、気持ちよく仕事が出来よう考えています」

「将来は、働きたくても働けない障害者が一人でも多く自立出来るようお手伝いできればいいと思っています。現状ではまだまだむりで、当面自分たちの力だけで成り立つ経営を目指しています」と言います。

「自分たちの歩んできた十年の歴史と業績に自信を持つこと」とドクターにも励まされ、また多くのボランティアや、北海道消費者連盟、生産者、消費者に支えられている毎日。きつと目標が達成される日が来ると思っています。

「正直にコツコツやっついていればきっと何か良いことがある。そうしなければいいなあ」とほえむ阿部さんでした。

(取材 高道 章)

平成6年度 国会請願署名募金結果報告

札幌腎友会選元金(全腎協募金二五%)
一五〇、九九七円、JPC選元金なし。
今年の全腎協国会請願は三月二十日に行われ
る予定です。

施設名	全腎協		J P C	
	署名	募金	署名	募金
札幌北クリニック	964	111,000	550	4,500
札幌北榆病院	700	36,300	390	1,500
石川 医 院	360	10,100	190	2,400
田島クリニック	890	16,700	360	2,000
渡井 医 院	405	32,000	276	4,000
三樹 会 病 院	215	10,000	203	2,000
中野 医 院	260	16,000	170	5,000
勤医協丘珠病院	560	23,400	336	3,000
仁榆 会 病 院	510	25,100	300	11,500
宮の森記念病院	300	19,500	160	500
クリニック1・9・8札幌	0	0	0	0
市立札幌病院	50	10,000	50	1,000
札幌東クリニック	122	29,600	115	6,302
いのけ 医 院	531	500	281	500
南一条病院	360	20,500	220	2,000
佐藤 医 院	150	3,500	130	700
光星泌尿器科医院	140	2,000	80	0
清田泌尿器科	137	8,621	90	500
仁愛会外科クリニック	20	2,200	27	3,200
河科内科クリニック	0	0	0	0
幌南 病 院	130	4,500	90	0
手稲溪仁会病院	111	6,200	79	500
坂泌尿器科病院	70	2,000	50	0
札幌中央病院	0	0	1	1,000
北三条泌尿器科クリニック	120	4,000	100	2,000
北海道泌尿器科記念病院	0	0	0	0
橋本内科クリニック	211	22,100	181	1,300
札幌鉄道病院	40	1,000	20	500
うえと 医 院	70	0	40	0
札幌セントラルクリニック	10	0	10	0
サン内科・外科病院	80	0	70	0
芸術の森泌尿器科	30	0	30	0
兼古循環器クリニック	170	7,000	80	1,000
自衛隊札幌病院	0	1,000	0	1,000
N T T 札幌病院	3	0	3	0
個人 会 員	114	6,600	64	1,000
合 計	7,833	431,421	4,746	58,902

正月飾り販売結果報告

平成6年度

施設名	販売売上額	還元金	施設名	販売売上額	還元金
札幌北クリニック	177,700	41,760	うえと 医 院	13,850	3,255
石川 医 院	23,950	5,628	札幌セントラルクリニック	56,100	13,183
勤医協丘珠病院	16,800	3,948	サン内科外科病院	43,900	10,317
中野 医 院	38,300	9,001	芸術の森泌尿器科	17,200	4,042
宮の森記念病院	16,800	3,948	兼古循環器クリニック	31,600	7,426
南一条病院	11,050	2,597	N T T 札幌病院	7,850	1,845
光星泌尿器科医院	20,000	4,700	石狩 病 院	36,500	8,578
清田泌尿器科	11,650	2,738	個人 佐々木英博	1,700	400
手稲溪仁会病院	24,900	5,852	合 計	564,750	132,720
橋本内科クリニック	14,900	3,502			

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
平成7年3月10日発行 (毎月10日発行)

H S K 通巻276号

発行人

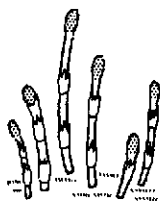
北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区北9条西19丁目55 細川

久美子

(講読料は会費を含む)
頒価150円

事務局活動経過報告

- 11月20日 第2回幹事会 (北区民センター)
〈報告事項〉
- ・20周年記念事業について
 - ・腎キャンペーンについて
 - ・その他
- 〈討議事項〉
- ・国会請願署名募金運動の取り組みについて
 - ・その他 (26名出席)
- 12月10日 結成20周年記念誌“生きる仲間”、発刊 (1,150部)
- 12月20日 “どうじん”51号(初冬号)発送
“透析ライフ”52号(秋号)発送
- 12月27日 機関紙“生きる仲間”30号発刊 (平成7年)
- 1月11日 “全腎協”145号発送
- 1月15日 札幌腎友会幹事新年会 (パークホテル) PM12:00~17名参加
- 1月19日 “生きる仲間”31号編集委員会
PM6:00~クインテス (5名)
第1回ボウリング大会実行委員会
PM6:30~クインテス (5名)
- 1月20日 阪神大震災義援金案内発送
- 1月21日 ボウリング大会案内発送
- 2月7日 第2回ボウリング大会実行委員会
- ・集計と電話確認
- 2月18日 ボウリング大会買い出し (5名)
- 2月19日 親睦ボウリング大会
(青木ボウル~76名参加)



■事務局だより■

◎臓器移植基金にご協力ありがとうございました。

- 3月8日 市立札幌病院食堂 (市立)
7,743円
- 7月6日 室井敏子様 (北クリニック)
1,086円
- 9月14日 光星調剤センター (光星)
18,040円
- 10月25日 高橋幹子様 (北クリニック)
1,531円
- 10月25日 光星泌尿器科 (光星) 2,152円
- 11月1日 中野医院 (中野) 13,026円
- 平成7年3月8日
光星泌尿器科 (光星) 881円

◎ご寄付を頂戴しております

- 清水フサ様 (いのけ医院) 20,000円
- 今村まち子様 (北榆病院)
切手 1,000円分
- 棧勇様より奥様の香典返しとして
50,000円

いずれも大切に会活動に使わせて頂きます。

ありがとうございました。

○お詫びと訂正

札幌腎友会結成20周年記念誌の会員名簿の中で札幌鉄道病院の菊池忠司様のお名前が菊池忠治様と誤っております。

お手元の記念誌のご訂正をお願い致しますとともに、菊池様には大変ご迷惑をおかけ致しました。紙上をもってお詫びを申し上げます。